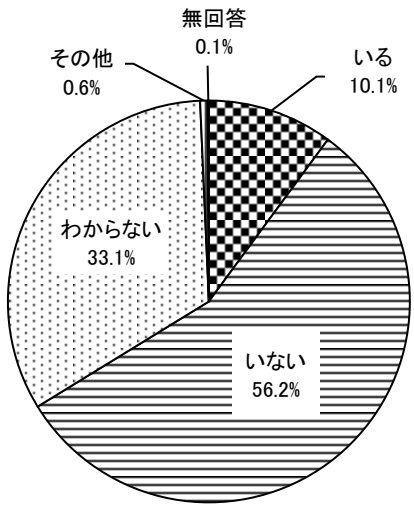


〔主な調査結果〕（「性の多様性等に係る県民意識調査報告書」より抜粋）

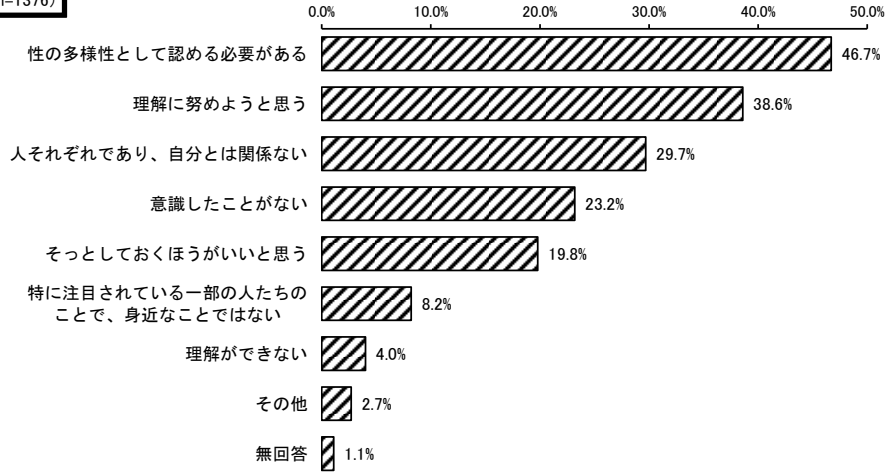
1 身近な性的マイノリティの方の有無（報告書P34）

全体
(n=1376)



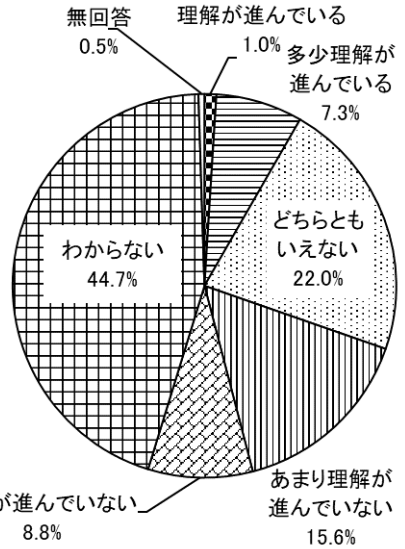
2 性的マイノリティに対する考え方（報告書P38）

全体
(n=1376)



3 県内での性の多様性の理解度（報告書P54）

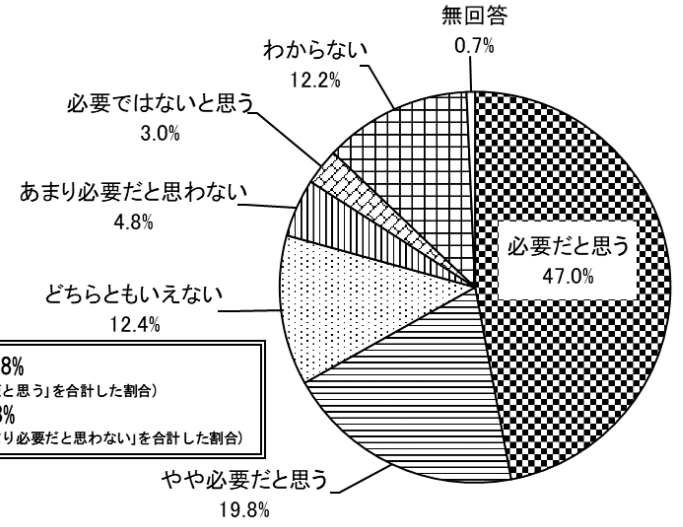
全体
(n=1376)



「理解が進んでいる」計8.3%
 (「理解が進んでいる」と「多少理解が進んでいる」を合計した割合)
 「理解が進んでいない」計 ...24.4%
 (「理解が進んでいない」と「あまり理解が進んでいない」を合計した割合)

4 県や市町村が取組を進めることの必要性（報告書P57）

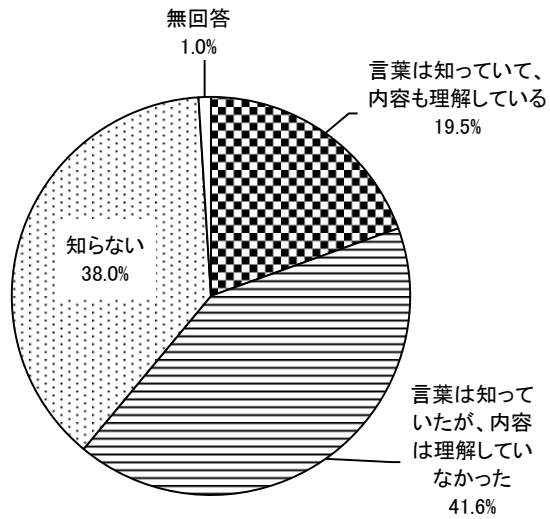
全体
(n=1376)



「必要」計66.8%
 (「必要だと思う」と「やや必要だと思う」を合計した割合)
 「不必要」計 ...7.8%
 (「必要ではないと思う」と「あまり必要だと思わない」を合計した割合)

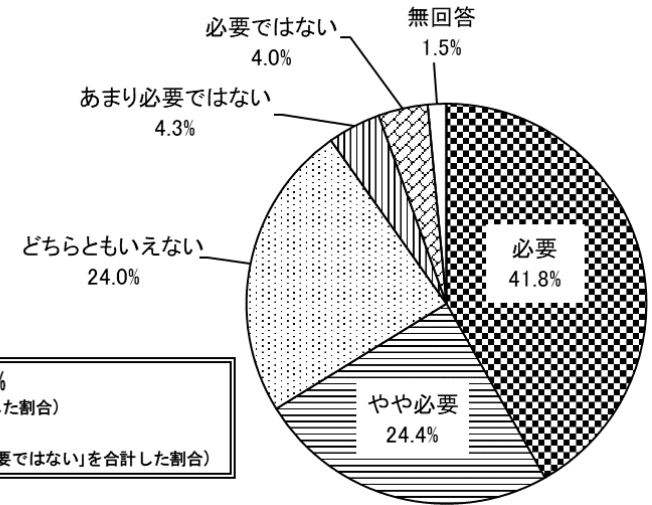
5 パートナーシップ宣誓制度の認知度(報告書P91)

全体
(n=1376)



6 パートナーシップ宣誓制度導入に対する考え方(報告書P93)

全体
(n=1376)



「必要」計66.2%
(「必要」と「やや必要」を合計した割合)
「不必要」計 ...8.3%
(「必要ではない」と「あまり必要ではない」を合計した割合)